

kagoshima local network

みなみネット

種子島の健康促進へ

鹿大大学院が講座設置

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、社会医療法人・義順顕彰会(西之表市)の資金提供を受け本年度、寄付講座「心血管病予防分析学講座」を設置した。期間は3年間。公的健診のデータを活用して、種子島1市2町住民の健康状態を把握。心血管などの重大疾患発症前に予防・先制医療を行い、長生きできる健康な島の実現につなげる。

療センターは、島のほとんどの救急患者を受け入れる。患者に脳卒中や心不全などの病気が多いことから、予防のあり方を探る講座の設置を要請した。

「健康アイランド種子島」と銘打った研究の軸となるのが、自治体が実施する40歳以上を対象とした特定健診や18歳以下の乳幼児健診、学校健診などの公的健診のデータ。

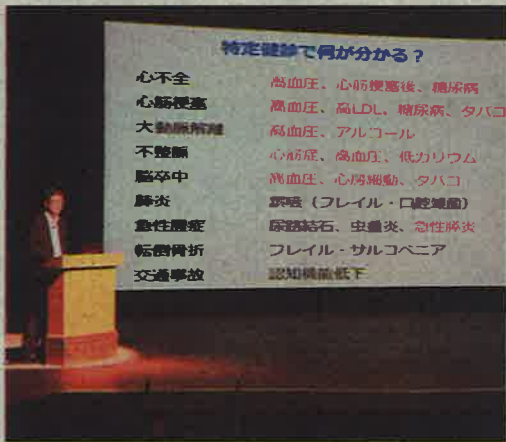
このうち、特定健診は、島内1市2町の受診率が50%未満で、西之表市は40%を割り込んでいる。研究の実効性を高めるためにも受診率向上が急務。10月には西之表市民会館で住民への告知を兼ねたイベントを開き、特定健診の積極的な受診を呼び掛けた。

義順顕彰会が運営する総合病院・種子島医療センターは、島のほとんどの救急患者を受け入れる。患者に脳卒中や心不全などの病気が多いことから、予防のあり方を探る講座の設置を要請した。

「健康アイランド種子島」と銘打った研究の軸となるのが、自治体が実施する40歳以上を対象とした特定健診や18歳以下の乳幼児健診、学校健診などの公的健診のデータ。

このうち、特定健診は、島内1市2町の受診率が50%未満で、西之表市は40%を割り込んでいる。研究の実効性を高めるためにも受診率向上が急務。10月には西之表市民会館で住民への告知を兼ねたイベントを開き、特定健診の積極的な受診を呼び掛けた。

(深野修司)



特定健診の必要性を訴える大石充教授
＝西之表市民会館